



2009年度

第2四半期決算説明会

～ 厳しい環境下における増益基調継続 ～

2009年8月4日

サッポロホールディングス株式会社

URL <http://www.sapporoholdings.jp/>



アジェンダ

・ 2009年度第2四半期決算総括と通期の見通しについて

1 . 2009年度第2四半期決算総括

グループ全体

2 . 各事業の状況と通期の見通し

各事業別

グループ全体

本資料に記載の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。



2009年度第2四半期決算総括

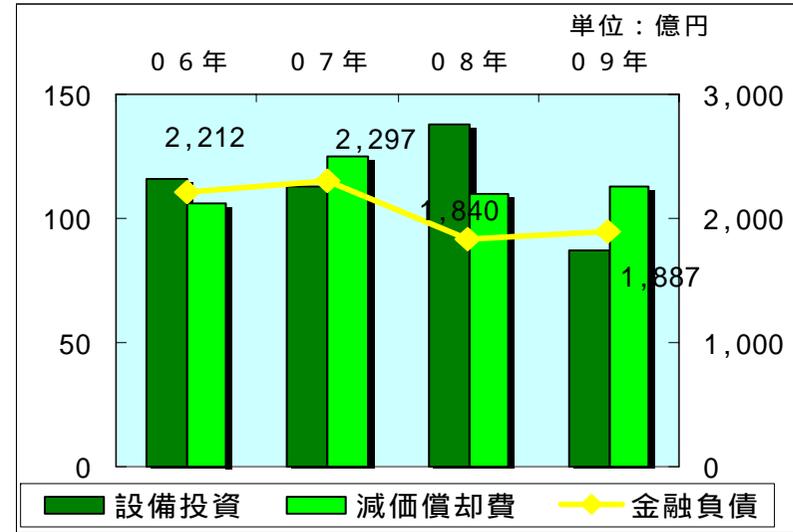
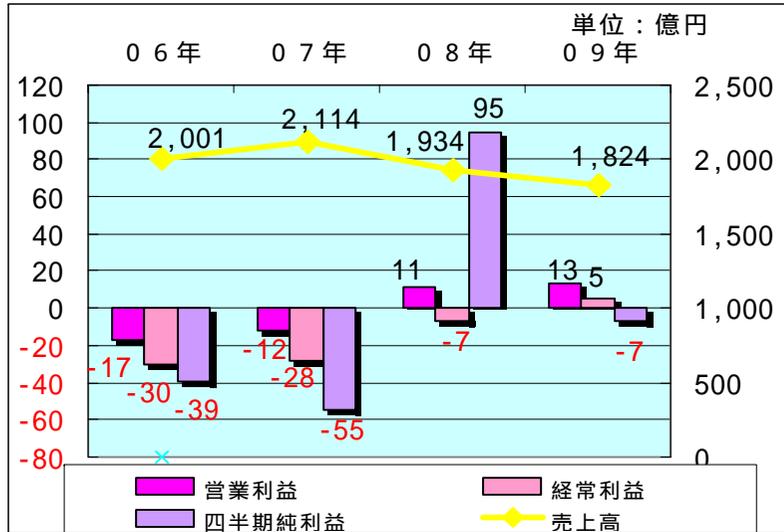


2009年度第2四半期決算総括

売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益の推移

～ 決算推移 ～

金融負債、設備投資、減価償却費の推移



< 2009年度第2四半期のポイント >

次への成長軌道へ転換するための基盤づくり

主力ブランド・サービスへの経営資源集中

コスト構造改革の着実な実行

コスト・コントロール体制の強化

逆境下における増益基調の継続

環境変化の中でも安定的な収益を実現する

個人消費の低迷

売上高の減少

会計制度の変更



- 1 .

各事業の状況と通期の見通し



国内酒類事業

財務ハイライト及び通期の見通し

会計制度変更の特殊要因なければ上期で黒字化していた

	06年2Q	07年2Q	08年2Q	09年2Q	09年(予)	前年比%
売上高	1,471	1,483	1,371	1,327	2,956	1.4
営業利益	32	29	10	0	56	27.4

金額単位 / 億円

ビール事業マーケティング戦略

集中と再配分の徹底

(1) エビスブランドへの経営資源集中

新たな成長ステージへ

エビスタイルアルユーザー推移

* 出展：当社ブランド診断調査 N=601~604 0805月~0902月推移

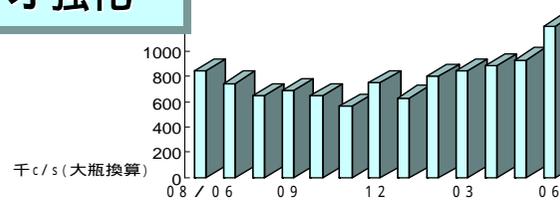
	比率	男性	女性	20代	30代	40代	50代
0902	6.1%	5.4%	7.5%	7.3%	5.3%	6.6%	5.3%
0811	3.6%	3.3%	4.2%	5.3%	3.3%	2.6%	3.3%
0808	6.0%	6.9%	4.2%	4.0%	8.0%	7.9%	4.0%
0805	2.3%	2.3%	2.4%	2.0%	4.0%	1.3%	2.0%



(2) 伸張が見込まれる新ジャンルのポートフォリオ強化

麦とホップをメガブランドに！

「麦とホップ」販売数量推移





国際酒類事業

財務ハイライト及び通期の見通し

金額単位 / 億円

	06年2Q	07年2Q	08年2Q	09年2Q	09年(予)	前年比%
売上高	25	135	124	104	213	11.7
営業利益	1	8	0	1	9	0.1

売上数量

2007年～2009年累計値では総需要(カナダ、米国)より高いパフォーマンスを継続

売上数量前年比	07年	08年	09年	09年 / 07年比
Sleemanブランド	106%	104%	111%	115.8%
カナダ総需要	99%	100%	98%	99.1%

売上数量前年比	07年	08年	09年	09年 / 07年比
USA社	108%	108%	86%	93.5%
米国輸入ビール総需要	107%	97%	89%	86.2%

現地通貨建売上高

Sleemann社

円換算後の売上高は減収となっているが
現地通貨建売上高では増収基調を継続

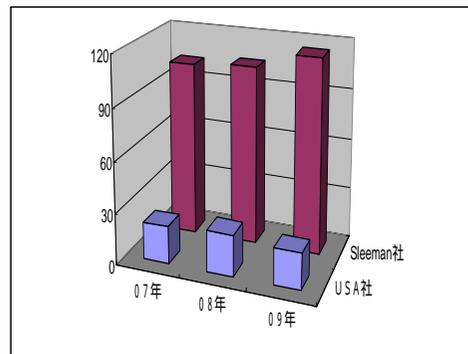
09年 / 07年比 **111.5%**

USA社

09年はスーパープレミアム価格帯での販売
でありかつ業務用市場での売上構成比が高く

減収となった 09年 / 07年比 **96.0%**

現地通貨建売上高の推移



単位：USA社は百万US \$、Sleeman社は百万CAN \$



適用為替レートの推移

	07年	08年	09年	09年 / 07年比
1CAN \$	116.23円	104.15円	79.42円	68.3%
1US \$	123.27円	104.90円	95.60円	77.6%



飲料事業

財務ハイライト及び通期の見通し

金額単位 / 百万円

	06年2Q	07年2Q	08年2Q	09年2Q	09年(予)	前年比%
売上高	26,770	24,194	18,112	14,854	30,800	16.4
営業利益	815	1,135	370	72	300	36.0



選択と集中の徹底によるリストラクチャリングの推進

施策による効果額(単位 / 百万円)

戦 略	アクションプラン	2008年		2009年	2010年
		計画	実績	計画	計画
1.既存オペレーションの適正化	<ul style="list-style-type: none"> 不採算取引の見直しと利益重視の営業政策 エリアの選択と集中による得意先企業の重点化の実施 オペレーター政策の見直しによる自販機事業の強化 	200	250	300	200
2.組織の統廃合と 人員の適正化	<ul style="list-style-type: none"> 本社管理部門の統合による人員の適正化 営業活動の重点化による営業組織の再編と人員の適正化 	200	300	400	-
3.各バリューチェーンに おけるコスト適正化	<ul style="list-style-type: none"> SCM生産・物流拠点の最適化、製品在庫適正化 原資材調達コスト適正化、廃棄ロス低減(製品、原材料) マーケティングコスト、自販機コストの適正化 	300	450	400	300
年度別合計		700	1,000	1,000	500

今後2年間で15億円強の規模のコストダウンを推進



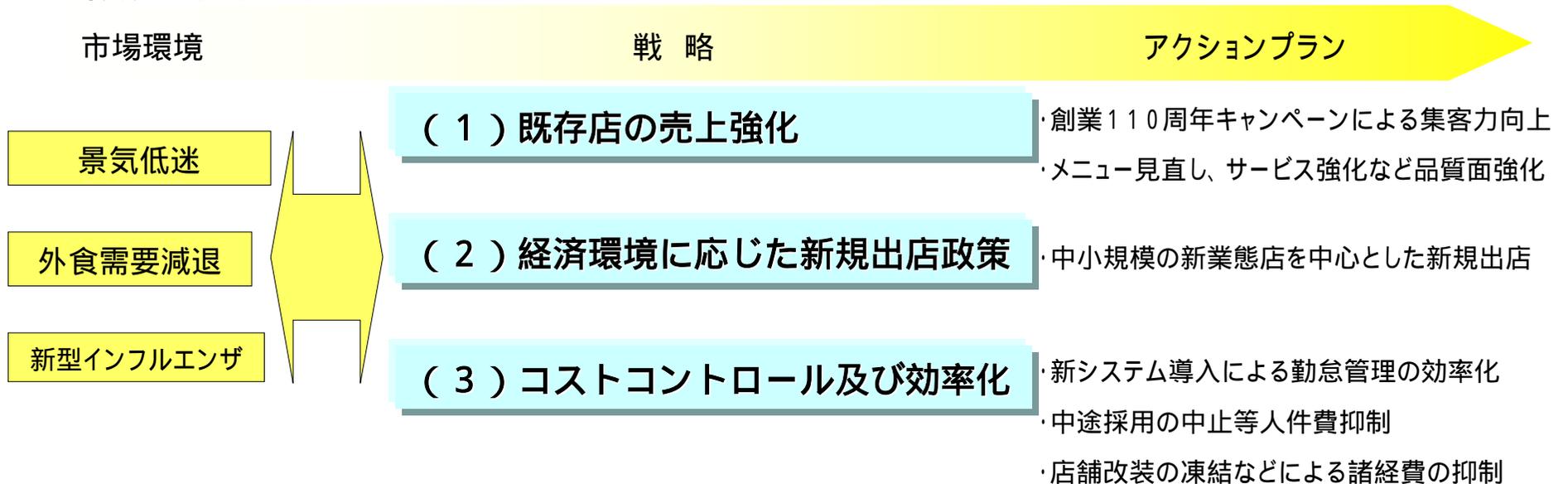
外食事業

財務ハイライト及び通期の見通し

金額単位 / 百万円

	06年2Q	07年2Q	08年2Q	09年2Q	09年(予)	前年比%
売上高	12,564	13,471	14,043	13,282	28,500	3.5
営業利益	79	106	42	443	200	63.6

当期のポイント





不動産事業

財務ハイライト及び通期の見通し

金額単位 / 億円

	06年2Q	07年2Q	08年2Q	09年2Q	09年(予)	前年比%
売上高	109	118	117	111	238	1.5
営業利益	31	33	37	35	75	1.5

当期のポイント

戦略

アクションプラン

(1) 既存物件の価値向上策推進

恵比寿ガーデンプレイス物件の価値向上

- ・オフィスエリアを中心とした稼働率・賃料水準維持向上
- ・恵比寿ガーデンプレイスを中心に省エネルギー投資を実施

(2) 保有不動産の開発推進

東京都内を中心とした不動産開発の推進

- ・商業施設「MLB café TOKYO」(恵比寿 9月開業予定)
- ・商業・オフィスビル(新宿6丁目 2010年完成予定)
- ・分譲マンション「千種ガーデンテラス」(名古屋市)

(3) 新規アセットの取得

東京都内を中心とした新規物件の取得

- ・「恵比寿エリア」を戦略的エリアと位置付け、新規物件の発掘・取得を行い、既存保有物件とのシナジーによる価値向上を目指す(8月に恵比寿地区のオフィスビル「恵比寿スクエア」を取得予定)
- ・オフィスビルについては、恵比寿エリアに限定せず、都心部で新規物件を発掘・取得



2.

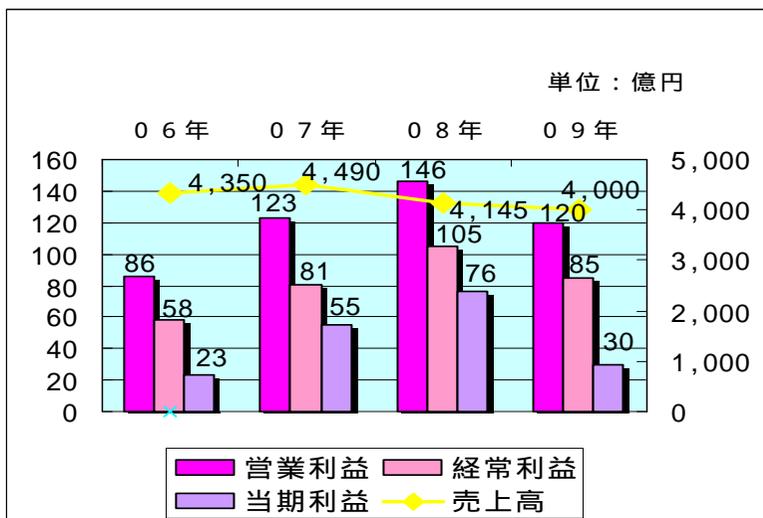
2009年度通期の見通し



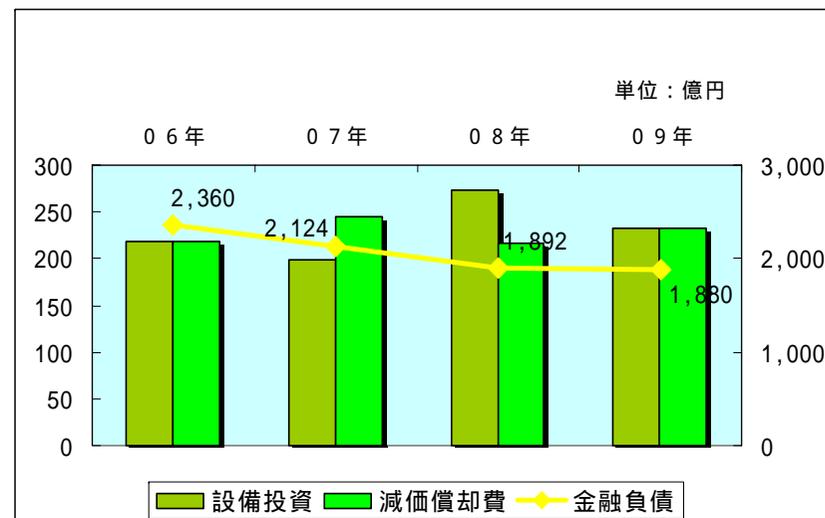
2009年度通期の見通し

～ 経営計画 ～

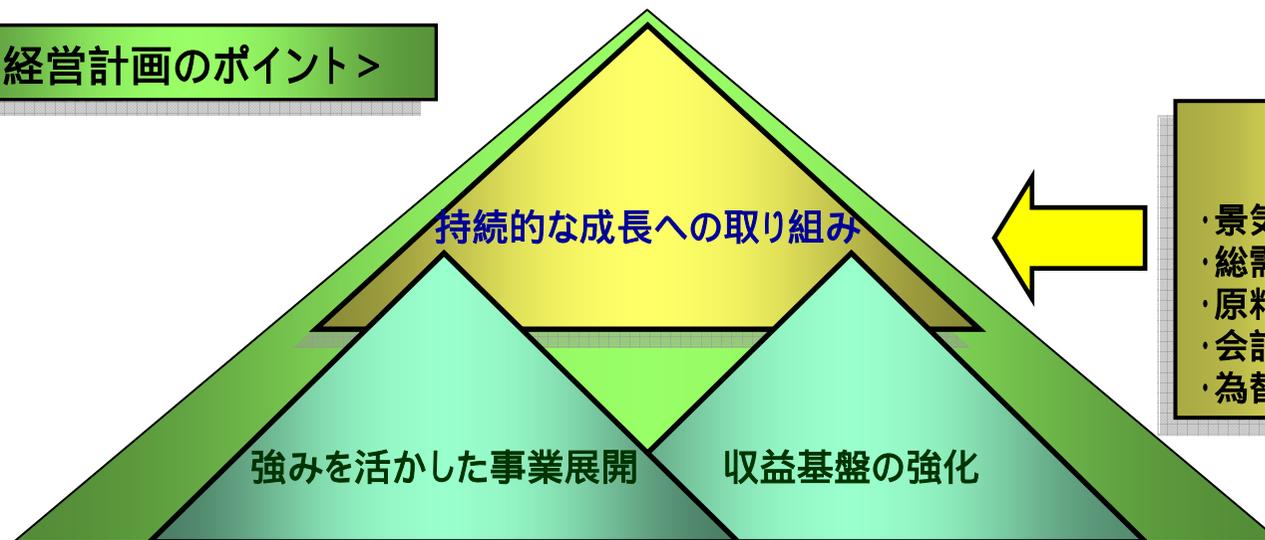
売上高、営業利益、経常利益、当期利益の推移



金融負債、設備投資、減価償却費の推移



< 経営計画のポイント >



ネガティブ要因

- ・ 景気悪化
- ・ 総需要減少
- ・ 原料・資材コストの上昇
- ・ 会計制度変更
- ・ 為替の影響



SAPPORO

2009年度

第2四半期決算説明会

終了

ご清聴ありがとうございました。

サッポロホールディングス株式会社